

令和8年度がスタートしました!

ツバメが校舎の周りを軽やかに舞い始めました。空気を切りながら迷いなく飛ぶ姿に、春の到来を改めて感じています。今年度、本校は13名の1年生を迎え、全校児童115名でスタートしました。5年前(令和3年度)に168名だった児童数は、この5年間で、さらに50名ほど減少しました。これまで以上に小規模校のよさを生かし、「一人一人が大切にされる学校」「達成感と充実にあふれる学校」「地域と共にある安心・安全な学校」を目指していきます。

一人一人の夢と希望の実現のため、教職員一同力を合わせて教育にあたり、成長を見守っていきます。今年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校教育目標

郷土を愛し、未来を見つめ、
心豊かにたくましく生きる子どもの育成

下曾我小学校がめざす子どもの姿は・・・



ふるさと下曾我を愛する子 (郷土愛)

★下曾我の自然や歴史、文化に触れ理解することで、地域を誇りに思い下曾我に住むことに喜びを感じる子を育てていきます。そして、人と人とのつながりを実感させることで、地域の一員であることの自覚と、よりよい地域を創っていきたいという思いをもたせていきます。

★地域の一員であると自覚することは、心の安定ももたらします。ふるさと下曾我を愛する心を育むことで、挑戦や自己実現の土台となる安心感を育てていきます。



目標に向かって力を合わせる子 (協働)

- ★自分らしさを発揮しながら、自分と異なる思いや考えを尊重し、互いに協働して創り上げていく力と意欲を育てていきます。
- ★協働する際は、意見の違いが生じる場面や上手くいかなかったり失敗したりする場面を成長のチャンスととらえ、大切にしていきます。
- ★結果や出来栄以上に、プロセスに目を向け、試行錯誤しながら経験を重ねる姿を励まし、サポートしていきます。



感謝と思いやる心を大切にする子 (尊重)

- ★感謝の心と思いやる心は表裏一体であり、共に育っていくものです。
- ★周囲の人に感謝の気持ちをもったり、相手の気持ちに寄り添って考えたりすることは、自分の存在を自覚し、肯定することにもつながります。
- ★相手の存在や行為を認め、感謝の気持ちを素直に表せる子、相手の立場になって考え、優しい言葉で伝えたり、手を差し伸べたりできる子を育てていきます。



自ら考え行動する子 (自律)

- ★教師が用意しすぎるのではなく、子どもの思いや願いを確認し、自分で活動や行動を決めるように促す指導を重ねていきます。
- ★一人一人の発達に合わせ、見通しをもった支援を行っていきます。
「〇〇しなさい」(他律)⇒「こうしてみるといいよ」(行動例を示す:半自律)⇒「自分はどうしたい?」(自分で考えることを促す:自律)